

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



グラジオラス 画・加納忠

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会
〒540-0026 大阪府中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 金谷 邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)

あの夢洲巨大開発

今度は『健康・長寿万博』をメニューに…

2016年6月30日、大阪府知事は「私の試案」だとしながらも、2025年開催で「人類の健康・長寿への挑戦」と銘打った国際博覧会（万博）計画を発表した。今後は7月・8月末の審議会での議論を経て、9月議会での議論を経て決定していく予定だと言う。

健康・長寿万博の企画の意図を「我が国をはじめ先進国においては健康寿命が長寿に追いつかず、QOL (quality of life : 精神面も含めた生活全体の豊かさ) が著しく低下し、この波は途上国にも及び、次世代の人類の最も大きな課題だ」としていますが、基本構想試案をめくっていくと、この計画の狙いが見えてきます。

試案 40ページのそれは、関西財界が長年にわたって求めてきた「大阪湾ペイエリア開発構想絵図」に他ならないものだからです。カジノ誘致推進を図っている「カジノIRジャパン」サイトをみればさらにわかります。そこには、「大阪府・市は夢洲へのカジノを含む統合型リゾート・IR誘致を目指して、IRと万博が相互連動しつつ夢洲の開発が進む想定」だと、この計画がカジノを目玉とした大阪湾の巨大開発計画であることを明かしています。

万博概要は、開催期間は 2025年の4月から10月の6か月で、来場者の見込みが3,000万人、経済波及効果は約6兆円、夢洲の会場用地 160ヘクタールの建設費 1,600億円、運営費 800億円、交通手段の目玉は中之島線を西九条経由で桜島まで延伸し、これを北港テクノポートでつなぐ案、整備費用は3,500億円と関西財界が求めてきた開発計画そのものです。これらのために府・市が調達すべき財源のために、都構想だとか副首都だとか、特別区とか総合区とか、あれこれ市民を欺く制度設計がすすめら



開発イメージ

れています。

大阪から公害をなくす会は、この計画を環境面から危惧しています。①南海トラフ巨大地震発生確率30年以内に70%と推測され、さらに活断層型地震も危惧されるなかで、海浜の埋立地での巨大イベントは防災面から危険だ②津波対策③液状化対策④避難対策⑤長周期振動対策⑥北港石油タンク群の火災対策、などなどです。

「健康・長寿を訴える万博」で、震災事故発生となれば世界に恥をさらす事態です。経済効果と人命・健康を天秤にかけてはいけない、これは公害をなくす運動の根本原則です。
(藤永のぶよ)